

平成 2 7 年度

第 5 回 八代市地域公共交通会議 会議録

平成 2 8 年 3 月 2 9 日作成

八代市地域公共交通会議 会長 永原 辰秋

【日 時】 平成28年3月25日（金） 14時00分～15時30分

【場 所】 八代市役所 5階 大会議室A

【出席者】 19名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
会長	八代市 副市長	永原 辰秋
委員	産交バス（株）八代営業所長	坂田 秀貴
委員	（一社）熊本県タクシー協会 専務理事	吉田 光義
委員	八代市タクシー協会 会長	神園 喜八郎
委員	八代市身体障害者福祉協議会 会長	渡瀬 隆
委員	八代市地域婦人会連絡協議会 会長	堀田 陽子
委員	坂本地域 代表	谷口 信吾
委員	千丁地域 代表	上 五雄
委員	東陽地域 代表	後村 新一
委員	泉 地域 代表	竹村 博文
委員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	牛島 光英
委員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整担当）	松野 完治
委員	国土交通省九州地方整備局 熊本河川川国道事務所 八代維持出張所 所長	長野 秀隆
委員	熊本県県南広域本部 維持管理課長	澤田 誠一
委員	八代市 建設部 土木課長	松本 浩二
委員	八代警察署 交通第一課長	松永 康裕
委員	氷川警察署 地域交通課長	磯崎 将志
委員	熊本県交通政策課 審議員	前田 隆
委員	八代市 企画振興部長	福永 知規

【欠席者】 9名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
委員	（株）麻生交通 代表取締役	麻生 伸一
委員	（一社）熊本県バス協会 専務理事	新居 唯一
委員	八代市老人クラブ連合会 会長	米田 常男
委員	八代地域 代表	徳田 武治
委員	鏡地域 代表	岡田 敏夫
委員	全九州産業交通労働組合 書記長	貢 博之
委員	熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科 准教授	柴田 祐
委員	八代校長会 麦島小学校校長	山鹿 智
委員	氷川町 総務課長	陳野 信次

【事務局】 企画振興部 次長 増住 眞也  
企画振興部 政策調整審議員 稲本 俊一

企画政策課	課長	宮川 武晴
企画政策課	企画係長	草西 亮介
企画政策課	主査	篠原 秀和

【議題及び資料】

◆報告事項

1. 委員の交代について
2. 再編実施計画（案）の概要について  
【資料1 再編実施計画概要資料】
3. 八代市モビリティ・マネジメント推進事業の実施結果について  
【資料2 モビリティ・マネジメント推進事業業務委託の報告】

◆その他

1. 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画推進事業））交付申請について  
【資料3 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画推進事業））交付申請書】

【公開状況】 公開

【傍聴者数】 0名

【所管課】 企画政策課 企画係 （直通：33-4104）

【発言要旨】

◆報告事項

1. 委員の交代について

<事務局説明概要>

※人事異動による委員の交代として、八代警察署 松永委員と氷川警察署 磯崎委員を紹介した。

2. 再編実施計画（案）の概要について

<事務局説明概要>

※資料1を用いて、再編実施計画（案）の概要として、計画の目的や計画区域、計画期間、再編方針、再編に向けた取り組みの方向性について説明した。また、各路線の路線再編事業の概要を説明した。

- ①東町線については、事業形態を路線定期運行からデマンド運行（区域運行）に変更し、公共交通不便地域を解消するとともに、運行効率化を図る。
- ②産島線については、事業形態を路線定期運行からデマンド運行（路線不定期運行及び区域運行）に変更し、運行効率化を図る。また、利用の状況を見ながら、将来的には段階的に運行区間を短

縮し、松橋線（国道経由）に集約することで運行効率化を図る。

- ③宮原線については、事業形態を路線定期運行からデマンド運行（路線不定期運行及び区域運行）に変更し、運行効率化を図る。  
また、利用の状況を見ながら、将来的には段階的に運行区間を短縮し、まちバスに集約することで運行効率化を図る。
- ④平和町線については、事業形態を路線定期運行からデマンド運行（路線不定期運行及び区域運行）に変更し、公共交通不便地域を解消し運行効率化を図るとともに、住民からの要望に応え、利便性の向上を図る。
- ⑤大門瀬線については、朝・夕の時間帯は八代市役所～大門瀬区間を運行し、通学需要を確保する（運行区間は変更なし・減便）。日中の時間帯は、運行区間を八代市役所前～日奈久温泉前区間に変更し、日奈久温泉前～君ヶ淵駐車場区間は田浦線に需要を集約することで運行効率化を図る（系統新設）。日奈久温泉前～大門瀬区間にデマンド交通を新設し、日中の移動需要に対応するとともに、公共交通不便地域の解消を図る。
- ⑥種山線と新八代駅線については、統合し、種山線の全便を八代市役所前まで延伸する。
- ⑦日奈久温泉ラインについては、終点を日奈久温泉前バス停に変更する。
- ⑧まちバスについては、運行ルートを変更する。また、一部の便を八代支援学校に乗り入れる。
- ⑨みなバスについては、常時循環化に変更する。また、運行ルートを、福正町を経由するルートに変更する。
- ⑩乗合タクシー河俣～種山線について、地域からのルート変更に対する要望を受けており、対応を検討していく予定である。また、種山線のルート変更についても合わせて検討していく予定である。
- ⑪五家荘地域については、民間タクシーの利活用により公共交通利用支援の導入を検討する。なお、関係法令等を考慮の上、検討を進める。

また、再編実施事業を進めていくうえで、八代市による支援内容として、公共交通の利用促進や地域が一丸となって公共交通を支える仕組みづくりを実施していくことを説明した。

その他、再編実施事業に関連して、乗り継ぎ利用に配慮したダイヤの調整や交通結節点における乗り継ぎ環境の改善などを説明した。

### < 発言要旨 >

- A 委員：乗合タクシーの岩奥～落合線について、釈迦院方面への路線を検討してほしい。
- 事務局：現在、岩奥～落合線が河合場から内桑までの区間を運行している。
- B 委員：大門瀬線の代替として運行する乗合タクシーは、内野地区のみではなく、小川内方面まで運行してほしい。また、百済木～坂本線と大門瀬線はうまく接続されておらず、高齢

者にとって、乗り継ぎが負担になっているため、円滑な接続を検討してほしい。

事務局：ご指摘の通り、大門瀬線の代替として運行する乗合タクシーは、百済木～坂本線との乗り継ぎを確保したダイヤ設定を検討していきたい。

事務局：再編実施計画を検討していく中で、地域公共交通網形成計画の内容に変更が生じる場合には、その修正を行い、本会議に報告する予定としている。

### 3. 八代市モビリティ・マネジメント推進事業の実施結果について ＜事務局説明概要＞

※資料2を用いて、平成27年度に実施したモビリティ・マネジメント推進事業についての成果を報告した。

企業モビリティ・マネジメントでは、意識面や行動面に一定の効果は見られた。ただし、行動面での効果は僅かとなっており、意識面での効果を行動面につなげていくことが課題として把握された。また、行動面での効果が僅かとなった要因として、通勤に利用可能なダイヤが設定されていないことが把握された。これらの効果・課題を踏まえ、今後、通勤に利用可能なダイヤへの見直しと合わせて、継続的な働きかけを実施して意識面の効果の拡大や行動面での効果につなげていきたいと考えている。

学校モビリティ・マネジメントでも、企業モビリティ・マネジメントと同様に、意識面や行動面で一定の効果を確認したが、行動面での効果は僅かとなっており、継続的な働きかけと通学に利用可能なダイヤの見直しが必要となってくる。また、動機付け冊子として配布した通学STYLEBOOKには高い評価が得られている。

#### ＜発言要旨＞

C 委員：市職員への働きかけをしてみるのもいいのではないか。

事務局：以前実施した意見聴取では、バス利用が少ないという実態がわかっている。その要因は、通勤時間帯に合っていないことがあるようだ。市役所でも通勤にあったダイヤの見直しにあわせた働きかけの実施を検討していきたい。

#### ◆その他

##### 1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の提出について ＜事務局説明概要＞

※資料3を用いて、平成28年度も地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用しながら、モビリティ・マネジメントに取り組んでいく予定である。具体的には、転入者と居住者を対象とした働きかけを行っていきたい。

#### ＜発言要旨＞

特になし